

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	入居者は、重度になり外出の機会が少なく、社会とのつながりが少なくなっている。	外出の機会を増やす。	見聞を広め、買い物支援など外出支援を実践する。	6ヶ月
2	10 19	入居者と家族のかかわりを大切にし、行事など家族の参加を多くする。	家族との交流を深める。	新聞の発行を増やし、こまめに家族に連絡する。 アンケートをとり家族の要望や意見を行事などに取り入れる。	6ヶ月
3	2	地域に開かれたグループホームでありたい。	ボランティアの受け入れ、職場体験など地域の方に広くかかわりを持っていただき、理解していただく。	ボランティアの受け入れ、中学生の職場体験など、地域の方が気軽に立ち寄れるよう工夫する。	6ヶ月
4	13	職員が法人内外の研修を受ける機会を確保し、認知症を正しく理解する。	認知症に対する職員の専門知識のスキルアップをする。	勉強会を行う。研修会に積極的に参加する。	6ヶ月
5	55	安心確保ができるよう設備の見直しを行い、安心して生活ができるホームでありたい。	火災通報装置の早期設置・開口部を増やす。	安全を優先し、広く識者経験などを取り入れ、できるところから整備する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。